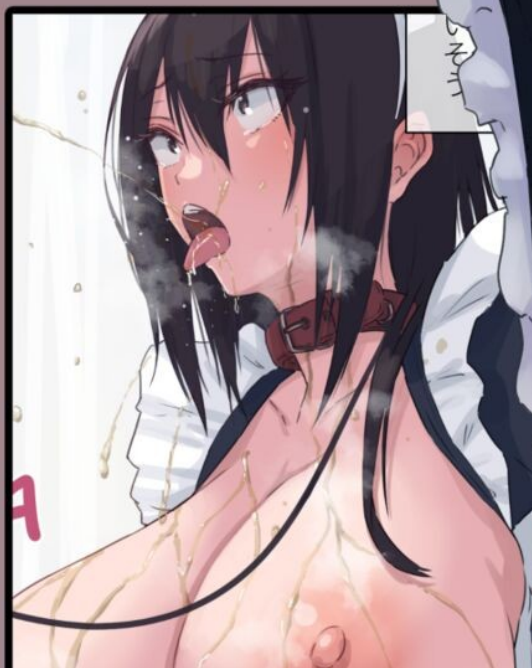


極甘

四白眼のメイドさん

夏石名無



お前も春から
大学生か…

早いものだな

…ありがと

父さんの
おかげだよ

なんだ？

進路のこと
まだ気にして
いるのか？

だって…

学費
かかるし

ははは…
一丁前に
気を遣って…

笑うなー

いや…すまん
お前ももう
子供じゃあ
ないよな

そうだ…

お前に
話しておきたい
ことがある

なに？

ああ…
今まで黙って
いた…んだが

お前に…は

ノッキン!!

グッ
グッ
グッ

なんだこれ…

全身が痛い…

目の前が暗く…

……はど…

寒い…

僕は一体誰…

何も思い出せない…

この暗闇は
いつまで続く？

誰か

ん…

メイド…さん？

父さんは？

僕は…
どれだけ
寝てた？

— きみは？

「父さん」…

なぜか
咄嗟に出てきた
言葉だ

大変
申し上げにくいの
ですが

貴方様のお父上は
2年前に
交通事故で
亡くられました

僕もその事故に
巻き込まれた？

左様で
ございます

どうやら
2年もの間
意識を失って
いたらしい

それで
きみは
いったい…

不思議と
初めて
会った
気がしない

私は貴方様の
専属メイドです

不束者ですが

どうかよろしく
お願いします

記憶喪失

泣いて喜ぶ彼女に

なんて言ったら
きつと
悲しませてしまう

それから
メイドさんの
勧めで

復学予定の
大学付近に
部屋を借り

奇妙な
共同生活が
始まった

彼女は学校に
通いながらも

炊事・洗濯・掃除
全てを完璧に
こなしている

ご主人様…

エサッ

もうすぐお食事が
出来ますので
少々お待ちください

しかも
それだけじゃない

エサッ

あの…えと…
なんというか
下品なのですが

勃起…
されてますか？

そう言い放つ
彼女に
軽蔑している
素振りはない
むしろ何かを
期待している
ように見えた

チラッ

どうして
分かったの？

その…匂いと
お召し物の
カタチで…

ごめん

リハビリ
続けてるけど

右手の握力
まだ
戻らなくて

溜まってる

なんて
恥ずかしくて
言えない

……

だけど彼女は
全てを察して
いるようだ

ご主人様…

私に
ご奉仕させて
ください

そんなこと
言われたら

もう自制
できない

お願いします…



ご主人様が
満足なさるまで

お好きなように
私の身体を
使ってください

そとがわ
乳房も

うちがわ
膣内も

ご遠慮なく…

私が壊れても
代わりは
おります

それでは

誠心誠意
ご奉仕させて
いただきます

そんなの
絶対おかしい

記憶は失っても
一般常識は持ち合わせて
いるつもりだ

きっと僕らは
そういう関係で

熱くて

硬くて

濃い匂い

これはそういう
プレイ
演技に過ぎないんだ

とても
素敵です

はぁ♡

はぁ

アチュ

リチュ

そうでなければ
説明がつかない

ん♡

ズリュ

アチュ

んむ♡

チュ

アホッ

アホッ

ん♡

アホッ

ググ

ググ

ん♡



ビュッ

ビュッ

ドン

グイッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

まだまだ
お元気そうですね♡
はっ♡

あっ♡

グッ

ハッ

ハッ

ビュッ
コロッ



私の膣は充分に
潤っております

どうぞ
お楽しみください



おっ♡

ご主人さま
気持ちいい
ですよ♡

あー♡あー♡
あー♡ひ♡

ぐわ

ナカに♡
下さ♡お願い♡
しまひ♡





そ、そんなに
精子が
欲しいならさ

ほら…その…でっ…
大きいおっぱいでさ

……あれだ…
ご奉仕しなよ

はい♡♀♀
ご主人様♡

ごめん…
言い過ぎたかも

いや…
悦んでる!?

卑しい肉便器♀を
精液で洗い流して
くださいませ♡

わたくしめのお♡
無駄に大きすぎる
下品なお乳♀でえ

♀ご奉仕♀させて
いたらきまひゅ♡

うわぁ♡

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ビュン

ビュン

ビュルッ

メイドさんは
酷い言葉を
浴びせるほど悦ぶ

誰がイっても良い
って言ったの？

ぎゅん ぐん

ぐん

びん ぐん

も...申しわけ
ございません♡

おほ♡

ほら

休んでないで
腰振って？

振れよ

ぐん

ひっ♡ああ♡

かしこまりました♡

おちん

ホントに
好きだね

命令されるの

おほ

いほ

ハイ♡

おほ

いほ

ただの趣味なら
良いのだけれど

この子は
一体どんな環境で
育ってきたのだろう

少しは
自分の頭で
考えたら？

指示待ち愚図メイドで
申し訳ございません

おっ♡

いっ♡

パン

パン

もし記憶を失う以前の
自分が変態クズ彼氏で

この子に無理矢理
命じているのだとしたら

その「呪い」は
解いておきたい

くちゅ♡

くちゅ

くちゅ

だっ♡

ハチュ

そんなこと
ないよ…

どうしたら
良いと思う？

なにか…僕に
できることある？

めちゃくちゃに
してほしいでしゅ♡

…大丈夫？

無理してない？

これは
「命令」じゃない
ただの「お願い」

本当の
気持ち
教えて？

…
本当は…

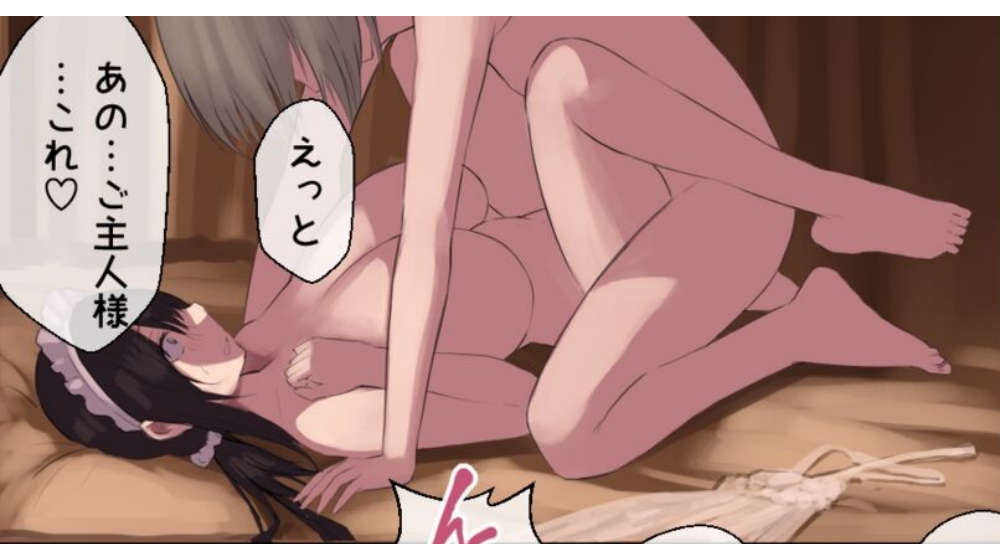
はー

キスが…
したいです

でも…
メイドの
身分で…
そんな

はー

わたし
ブスですし



あの…ご主人様
…これ♡

えっと



ほーっ♡

とろっ



んぢー♡

ぜったい今
変な顔
しちゃってます♡

えっち
気持ち良すぎて

わたし
目つき悪いし

ぶぶぶ♡

だめですこれ
この体位♡

お顔近くて…

おぢ♡

メイドさんの顔
すごく可愛いし
えっちだよ

ぶちゅ♡

ぶちゅ♡

じゃあ
独り占めだね

わーっ♡
おぢ♡
♡

そそ…そんなこと
言ってくださるのは
世界中でご主人様
だけです♡

わーっ♡
おぢ♡
♡

わわ♡わたしは
ごしゅじんさまの
ものです♡

ごしゅじんさま♡
わたしっ…もう♡
イってしまいそうです

僕も…

あ♡あ♡
ご一緒に♡
イきたいです♡

ドグッレ

お♡イググウ♡
いっ♡いっ♡
ひっ♡

あ♡あ♡
グウ♡
びゅん♡

びゅん♡







わたしは
正真正銘の
メイドです!
というかなんで
記憶喪失って
黙ってたんですか?!

わっ...
わたしのこと
メイドプレイ好きの
変態彼女だと思
ってたんですか?!

ごめん...



これ以上
悲しませたく
なかった...

この人は
偶然お見舞い
に来てたん
じゃなく

ずっと傍に
いてくれた
んだな
と思った

：2年ぶりに
僕が目覚めた
とき
君が目の前に
いて

涙を流してた

笑ってほしかった

ごめん...色々言葉を
並べてしまったけど

つまり...



君が
好きなんだ

幼少期から
清掃・洗濯・炊事
のみならず

房中術・戦闘術を
叩き込まれてきた

ときには
性具として

ときには
盾として

ご主人様が
何不自由なく
平穏に暮らせるよう
この身を捧げる

迷いは無い：
つもりだった

君が
好きなんだ

だけどこんなとき
どうしたら
いいんだろう

私はあなたが
幸せなら
それでいい

ご主人様には
13名の許嫁が
いらっしやいます

いずれも
上流階級の
ご令嬢ばかり

その中から
お気に召された方を
正室に
迎えるべきです

私を選んだら
きっと不幸に
なります

どうか
これからも
メイドとして
ご主人様の傍に
置いてください

えっと…
事情は
分かったけど

僕が知りたいのは
君の気持ちだよ

そんなの愛してるに決まってる
じゃないですかー!!

異性として超意識してき
めちやくちや

性的な目で見てま
毎日ご主人様の

自慰行為に耽る

やめられません

相思相愛になれ

思い残すことは
嘘です
お嫁さんになりたい
なのたいなのたい

少し時間を
ください

このままじゃ
ダメだ

ご主人様に
「正しい主従関係」を
ご理解
いただかなければ

パン/ヤッ

私の想いを
悟られる前に…

ヤッ

申し訳
ございません
ご主人様…

お手数ですが
どうかお仕置き
してください

いや別に
怒ってないよ？

しかし…

メイドとして
ケジメを
つけなければ

そんなこと
言われても

どうしたら
いいのか…





望むなら
眼窩だって



ナニにしても
いいんですよ

膣や腸は
もちろん

喉奥まで

はー♡

はー♡



媚薬が効いてきた
ようですね

んぱっ♡

んぱっ♡

んぱっ♡

んぱっ♡

んぱっ♡

一生懸命
腰を使って…
可愛い



びくん♡

ごめん…
出るっ…

かほ♡

おほ♡

グッ♡

びく♡

とほ♡

しゅ♡

じゅるるっ♡

けほ♡

びゅ♡

とほ♡

おほ♡





凄いこれ
背徳感で
気が狂いそう

わたしは
幸せ者だ

こんなこと
彼女だっ
お嫁さんだっ
てしないもん

だめ...もう
出ちゃう!!

もっと
お仕置き
してほしい♡

バン



ご主人様あ♡

申し訳
ございません♡

お許しください♡
もうだめ♡

ばん

じゃあ、じゃあ

お仕置きして
って言ったのは
そっちでしょ？

…やだ

じゅるんっ

おっ
っ

だめえ♡
何か出ちゃいます
止めてください♡

ひびい
っ

そこ汚いですから
舐めてはダメです

がく
がく

びく
んっ

ちゅぽぽ
ぽ

ぽちゅっ



がくがく

あ♡あ♡♡ダメっ♡
飲んじゃダメです♡

あゝあゝあゝ

じゅぽぽ

がしゅっ

イヤあ♡
止まらないよあ♡



んっ♡
んっ♡

あやっ

あやっ

ご主人様の体液と
私の体液が
口の中で混ざってる

気持ち
満たさ
溢れて
抑えら



うおっ
あっ
あっ

バク

バク



はー

はー

好き
です
ご主人様



バク
バク

バク

ご主人様と
ひとつに
なっているのが
嬉しくて
堪らないです

うおっ
あっ
あっ





だめ?

両想いになっちゃいましたね

ご主人様...



君と一緒にいようとしても

きっとこれから大変ですよ

だめ?





お久しぶりです

来ちゃいました♡

あとかき

ここまで読んでいただきありがとうございます。

「四白眼のメイドさん」シリーズは
過去にCG集を2作品出していますが
その都度、力不足を感じてしまい
設定をリセットしては同じような話を繰り返し作り直しています。
そのような非常に情けない状況の中でも多くの方に応援いただき
三度目の正直という想いでこの作品を描きました。

もしよろしければ感想やレビューをいただけますと幸いです。

著者： 夏石名無
サークル： 4390works
Twitter： @nxvy2(本垢)
 @nxvy31(R18垢)
pixiv ID： 93531770

※18歳未満の方の購入および閲覧を禁じます。



Thank you.







